

協力校に実践を依頼して、研究に取り組んでみた。道徳ノートは「心のノート」と称して、A4判ファイルに40枚ほどの用紙を綴じ、その紙に、ワークシートや道徳の資料を添付できるようにした。また、表紙には、自分が1年間努力していく道徳性に関するめあてを記入し、裏表紙には、道徳の学年の内容に沿って、行動の自己評価表を貼り、1ヶ月ごとに自己評価していくことにした。なお、実施学年は小学校第3学年である。

## ② 活用の実際

最初の道徳性に関するめあてについては、「やさしい心」が4名と最も多く、その他「明るい心」「やさしさのある心」「美しい心」「楽しい心」「元気な心」「思いやりのある心」「きれいな心」「ゆたかな心」「天のような心」「気をつける心」などがあり、各自が表紙にめあてを大きく書いていた。



【研究協力校で実践した「心のノート」】

ノートの中には、授業で使用した資料やワークシート等が糊付けされており、また、授業の終末で渡された親からの手紙も丁寧に貼られていた。

教師は、毎時間、「心のノート」を集めて、一人一人に応じた激励の言葉や助言を書き添えた。教師のコメントは、子供たちが意欲を持って継続して取り組む大きな要因となった。

自己評価表には、自分の生活を振りかえり、自分でよくやっている箇所に好きな色を塗っていった。児童は自分の評価基準をしっかりと持ち、自己評価をして行動を見つめ直す児童の姿が見られた。

10	自然を大切に作る	●●●●●●●●●●
11	生き物の世話をする	●●●●●●●●●●
12	きれいなものに感動する	●●●●●●●●●●
13	きまりを守る	●●●●●●●●●●
14	進んで仕事をする	●●●●●●●●●●
15	家族のためになることをする	●●●●●●●●●●
16	学級のためになることをする	●●●●●●●●●●
17	ふるさとのすばらしいところを見つける	●●●●●●●●●●
18	日本のすばらしいところを見つける	●●●●●●●●●●

【研究協力校児童の自己評価表】

道徳の時間に「心のノート」を継続して使った感想は次の通りである。

- 勉強したことが残せておけて良いと思う。
- 道徳の意味がわかってきた。
- 使ってみてとても楽しいと思った。
- 自分の意見がまとまって便利だと思った。
- 書くところが大きくて書きやすい。
- 自分の考えがメモできて、反省やまとめが書きやすい。
- 3年生になって初めて使ったのでうれしい。
- 書くことが少したいへんだった。

ほとんどの児童が「心のノート」の使用を好意的に見ていた。しかし、自分の考えを書く作業やワークシートなどを貼る作業も多くなるので、難しかったとする児童もおり、発達段階に応じた「心のノート」づくりなど、今後検討が必要である。いずれにしても、実施する場合は、全学年の共通理解のもと継続して取り組むことが望まれる。

## (5) まとめ

道徳教育を中核とした特色ある学校づくりは、かなめとなる道徳の時間を地道に取り組み、その指導を充実させることが基本になると考える。日々の道徳授業の充実につながるものとして、「道徳教育通信」「資料の検索システム」「心のノート」などを中心に研究を進めてきた。

「道徳教育通信」と「心のノート」に関しては、研究協力校の活用実践を通して、その有効性を確かめることができた。「資料の検索システム」については、さらに、心に響く資料が探しやすいように改善していきたい。